



用賀あんすこかわら版

あんすこって何してるの？ 令和3年7月1日発行

担当者からお伝えします！

管理者よりご挨拶

～コロナ禍でも交流を絶やさない～

みなさん、こんにちは。令和2年は新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)の流行のため、年間を通して、自粛の生活が余儀なくされました。高齢者の方からは、「誰とも話をしない日があり、声が出にくくなった」「なんとなく不安になる」という声もありました。コロナ禍でも、感染症対策をしながら健康づくりや交流の時間を持つことは、高齢の方だけではなく、多世代の方に共通して大切なことだと考えます。

電話、お手紙、オンライン、と様々な形でつながっていけるように試行錯誤しております。用賀あんしんすこやかセンターでは、相談や訪問の業務を、通常通り行っております。地域のこと、福祉のこと、相談がある方もない方も、用賀まちづくりセンター2階までお越しください。イラストの職員がお声かけいたします♪



管理者: 津根早苗 (社会福祉士)

世田谷区に来てから9年が経ちました。地域の方と一緒に活動を行い、日々楽しみ、学ばせて頂いております。

今回のあんすこかわら版では、職員紹介と事業の紹介をさせていただきます。関心のある事業がありましたら、お気軽にお声掛けください。



これから暑さの厳しい季節になります。熱中症に気を付けて、お過ごしください!!

副センター長: 花尾重之 (主任介護支援専門員)

高齢者見守りの取り組み



支援が必要だと思われる高齢者等を早期に把握し、適切な対応をすること、孤立死を防止することを目的に、毎年あんしんすこやかセンターの職員が訪問し、状況の把握をしています。ただ、訪問できる対象者は限られています。そこで安心・安全に暮らしていただけるよう地域の様々な団体・事業者等と連携し、何か気づいたことがあれば連絡をしてもらえよう“見守りネットワーク”の構築にも取り組んでいます。何かありましたら気軽にご連絡ください。

見守り担当: 増田祥子(看護師)

健康貯金スタンプラリー：世界一周旅行気分

『カラダもアタマもココロも元気に』が合言葉



[さわやかはーとあーす世田谷]

コロナ禍で感染するのは怖い、でも外に出たい、人と話したい、元気でいたい。そんな悩みを解消すべくスタートしたスタンプラリー。3回目の今回は、世界一周旅行をテーマに各国の観光名所や名物料理を巡り歩き、見事達成した方には表彰が待っています。

就学前のお子さんから90代まで、障害がある人もそうでない人もたくさんの方が参加し、外出や歩くことへ前向きになれると好評です。今回は、まちづくりセンターの他に、障害のある方が元気に働く「さわやかはーとあーす」にもスタンプ設置場所としてご協力いただきました。今後はさらに場所や対象を広げ、誰でも気軽に参加できるイベントに育てていきたいと思っております。



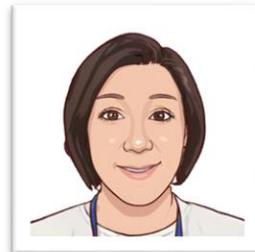
岩崎由紀子: 社会福祉士



世界旅行に見立てたスタンプカード「観光コース」と、2周目の「まんぷくコース」を設定しました。



スタンプステーションの飾り付けを「折り紙・彩の会」様よりご協力いただきました。会場が明るく楽しい雰囲気になり華やきました。地域の方々のお力添えで交流の輪が広がることを期待しています。



小川典子: 看護師

用賀あんしんすこやかセンター (用賀地域包括支援センター)

月曜～土曜日 8:30～17:00 TEL: 03-3708-4457

地域づくり： 高架下ラジオ体操の取り組み

新型コロナウイルスに負けない！！ 体づくりをしませんか？

『オープンエアで楽しく、真剣にラジオ体操』をテーマに3/24～4/9の平日の午後、20分程度、用賀高架下広場のスペースをお借りして、①ラジオ体操の歌 ②ラジオ体操第1 ③ラジオ体操第2を行いました。のべ、185名もご参加いただきました。

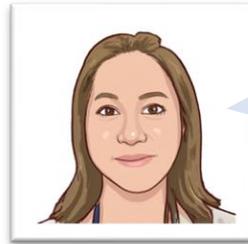


[用賀高架下広場でのラジオ体操の様子]



住民の方々の意識の高さ、熱心な姿勢に感心しました。

松本晶子:主任介護支援専門員



用意したスタンプとスタンプカードにも喜んでいただきました。

石井喜美江:社会福祉士

認知症に関する取り組み

●担当: 花尾

～安心して生活が送れるように～



世田谷区では、認知症に関する取り組みが活発化しています。『本人、家族で、もの忘れが心配な方』『家族介護者への支援』『認知症について学びたい方』など多様な取り組みが行われています。認知症になってからも、住み慣れた地域で生活が続けられるよう、私達がお手伝い致します。認知症のケアは抱え込まないことが大切ですが、本人、家族にとっては、なかなか声を上げられない現状もあります。もしお近くで困っている方がいましたら、まずはあんしんすこやかセンターまでお声掛けください。

医療と福祉の連携 の取り組み

●担当: 増田、松本

医療と福祉(介護等の支援)を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるために、様々な専門職(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・介護事業所・障害支援等)との顔の見える関係づくりを推進しています。

今年度の取り組み(予定)

- ・用賀カフェ (Zoomを活用した医療職・福祉職向けの連携の場)
- ・区民向け講座(年1回)

介護予防 筋力アップ教室

●担当: 石井、海野

*要支援認定者・事業対象者

世田谷区では、介護予防の取り組みの一つに、「筋力アップ教室」というプログラムがあります。参加者それぞれの課題から各自目標を決めて、取り組みます。基本週1回、3か月程全12回のプログラムを通して仲間ができることも。介護予防のキーワードで気になる方、どうぞお気軽にご相談ください。

今年度の開講(予定)

- ・6月開始(開講中)
- ・9月開始
- ・12月開始

事務員・新入職員紹介



昨年第二子出産のためしばらくお休みをいただいておりますが、無事にこの春戻ってくる事ができました。あんすこでは、職員の皆さんのサポートをしています。今後ともよろしく願いいたします。

鈴木妃呂美:事務員



この度入職しました海野です。皆様が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

海野昌洋:社会福祉士